

許さない!! 川内原発「合格」

政府の原子力規制委員会は7月16日、九州電力川内(せんだい)原発(鹿児島県薩摩川内市)1、2号機に対し、事実上の再稼働の「合格証明書」を出す審査書案を了承しました。これを受け、安倍首相は再稼働をすすめる構えです。こうした事態もうけ全国各地で抗議行動が行われ、金曜の官邸前行動(18日)でも、多くの参加者が再稼働許すなを声をあげました。

7/18
官邸前行動

共産党・小池副委員長、吉良よし子参院議員 スピーチ



官邸前行動では、日本共産党の小池晃副委員長・参院議員と吉良よし子参院議員がスピーチしました(左写真)。その大要を紹介します。

原子力規制委員会が審査書案を了承しましたが、断じて許すわけにゆきません。そもそも福島第1原発が現在どうなっているか分からないのに、世界最高の規制基準なんてつくれるはずはありません。川内原発の近くに阿蘇、霧島、桜島などの火山があります。しかもその火山の噴火について現在の科学では予知できる段階にありません。それな

のに火山噴火の問題についてまともな対応もない、こんなものは基準の名には値しません。

そして何よりも許せないのは、住民の避難計画がまともにできていないことです。鹿児島県知事さえ30キロ圏内の全住民の避難計画の作成は無理だといっているのです。それなのに再稼働するということは「人の命はどうなってもよい」ということになるではありませんか。この夏も電力不足はおきません。電気は足りているのに、再稼働をすることということは、電力会社の経営を国民の命より優先するということではないでしょうか。

今すべての原発は止まっています。そして多くの国民が再稼働に反対しています。それなら止まったままで、すべての原発を廃炉にする、これが最も現実的な道ではないでしょうか。すべての原発を廃炉にするため、頑張りましょう。



▲事故収束もままならない福島第一原発の汚染水タンク群

即時原発ゼロ。あくまで再稼働ねらう安倍政権打倒を

日本共産党

原発事故で、いまなお13万人以上もの人が避難を強いられています。そして5月21日には「大飯原発の運転差し止め」という画期的な判決もできました。にもかかわらず、原発再稼働に突き進む安倍政権は、絶対に許せません。みなさんと力をあわせ、安倍政権打倒の運動をひろげます。



8→17人に躍進した都議会議員と吉良、小池氏ら

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2014年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

「しんぶん赤旗」や「東京民報」をぜひお読みください